

# 令和元年度 社会福祉法人浄願寺福祉会事業報告書

## 1. 法人本部

### ①理事会の開催

開催 期日	開 催 場 所	出席数	議 案
H31.4.17	浄願寺こども園 第2事務室	8/9	① 平成31年度こども園会計予算補正の件 ② 入札手続きに関する件 ③ その他
R1.5.25.	浄願寺こども園 2F子育て相談室	9/9	① 平成30年度浄願寺福祉会事業報告の件 ② 平成30年度浄願寺福祉会決算報告の件 ③ 平成30年度浄願寺福祉会監査報告の件 ④ その他
R1.6.18 16:00～	浄願寺こども園 2F子育て相談室	9/9	① 理事・監事選任、解任報告の件 ② 浄願寺福祉会理事長選任の件 ③その他
R2.1.17	浄願寺こども園 2F子育て相談室	7/9	① 令和元年度浄願寺福祉会予算補正の件 ② 働き方改革 IT 導入の件 ③ 評議員選任解任委員選出の件 ④ 評議員増員の件 ⑤ その他
R2.3.26	浄願寺こども園 2F子育て相談室	9/9	① 令和元年度浄願寺福祉会予算補正の件 ② 令和2年度浄願寺福祉会事業計画(案)の件 ③ 令和2年度浄願寺福祉会予算(案)の件 ④ 幹部職員継続雇用(契約変更)の件 ⑤ 就業規則一部改正の件 ⑥ 給与規則一部改正の件 ⑦ 園則一部改正の件 ⑧ 令和2年度雇い入れ職員の件 ⑨ その他

### ②内部監査

令和元年5月20日(月) 19時00分より、監事2名により平成30年度分法人運営及び経理の監査を受けた。

平成30年度の社会福祉法人浄願寺福祉会の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等決算帳票については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正と認める。

指摘事項 ・毎月の給付金の請求事務を適切に行うこと。

③ 第1回評議委員会 R1.6.18 14:00～ 浄願寺こども園 2F 子育て相談室

- ① 理事・監事選任、解任の件
- ② 平成30年度浄願寺福祉会事業報告の件
- ③ 平成30年度浄願寺福祉会計算書類承認の件
- ④ その他

④ 令和元年度評議員選任・解任委員会 R2.3.11 13:30～ 浄願寺こども園 2F 子育て相談室

- ① 出席者 監事・稲吉郁哉、事務局・仲宗根真佐子、外部委員・尾倉久美子
- ② 議 事 経過措置終了に基づく評議員追加選任の件

2. 事業

I. 浄願寺こども園

① 園児数 定員 135名

		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号 3号 認定	0歳児	18	9	10	11	12	15	18	18	20	21	22	22	22	200
	1.2歳児	47	43	43	44	44	44	44	44	46	47	47	47	47	540
	3歳児	15	15	15	15	15	15	15	12	12	12	12	11	11	160
	4.5歳児	10	26	28	28	26	26	24	23	23	23	23	22	22	294
	小計	90	93	96	98	97	100	101	97	101	103	104	102	102	1194
1号 認定	3歳児	15	21	21	22	22	22	22	25	25	25	25	25	25	280
	4.5歳児	30	38	36	36	36	36	36	39	39	39	39	39	39	452
	小計	45	59	57	58	58	58	58	64	64	64	64	64	64	732
合計		135	152	153	156	155	158	159	161	165	167	168	166	166	1926
保育教諭			27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324

② 当該年度の特筆すべき事項

令和元年度は、年度当初より定員 135 名に対し 152 名の入所児があり、特に 1 号認定児童は定員 45 名に対し 59 名で、これに伴い保育事業収入も潤沢に入り決算額は 204,294 千円(前年度決算額 194,687 千円)で余裕ある事業運営となった。10 月からの無償化の影響については事務作業が多少煩雑になったものの利用者に大きな変動はなく、1 号、2 号低額納税者は無料、それ以外の世帯は 4,500 円の副食費だけの保育料となっている。さらに 3 号認定児童の第 2 子以降の子どもの保育料も無償になっている。課題としては、入所児の増加による学級編成加算、チーム保育加算の削除は、保育の質の確保に逆行するものと考えられるので、職員を確保し、安定した保育の提供に努めたい。

また昨年度は 2 月以降の新型コロナウイルス感染拡大を受け、施設内の消毒・換気、在園児、職員の手洗い、うがいを徹底した。また生活発表会の観覧者を父母のみに制限するなどの措置を講じた。

③ 保育の内容

保育理念「共生・共育/信頼・尊敬/ゆとり・感謝」を掲げ、「共に生き・共に育ち合える」保育を願いとして、保育目標「ともに生き、ともに育ちあう保育の実践」、保育実践項目「①丈夫でしなやかな体の子ども・②友だちを思いやり、誰とでも関わりが持てる子ども・③みずみずしい感性豊かな子ども」

も・④自分で考え、行動できる子ども」の4項目について、個々の心と体に即した成長発達を遂げるよう保育に取り組んだ。一人ひとりの子どもを大切に、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づきカリキュラムを立案、教育と保育を一体的に提供するよう、創意工夫し園児の心身の全面発達を目指し、季節に応じた保育を行うとともに、感性が豊かに育つよう自然に触れ合う体験活動を多く取り入れるよう心がけた。しかし、年度末のコロナウイルス感染拡大の影響により、3月の保育に制限がかかり、そば打ち三園交流保育などの体験学習が出来なかった。

また、子育て支援アンケートをとり、保護者の意向を取り入れながら「子どもの最善の利益」を考え保育するよう心がけた。同時に保護者への子育てに対する情報提供や子育てについて考えてもらえるよう、クラス懇談会などで話し合いなどを重ねて保護者支援を行った。

さらに、教育委員会の要請で小学校との連携をとり、年長児から小学校へとスムーズに移行できるよう接続カリキュラム(アプローチカリキュラム)を作成し、保育を行った。

給食の方では、栄養士が保育教諭と連携し、園全体で野菜作り・調理保育・栄養指導などの食育の推進に取り組み、給食材料や献立を検討しながら、より安全でおいしい給食作りに心がけた。

また、アレルギーのある子どもに対して、保護者との連携を取りながらアレルギー源を除去した給食も提供した。

#### ④特別保育事業

##### ア. 延長保育事業

最近の社会情勢から両親の就労状況はますます多様化してきた。親が安心して働けるよう子育てを支援するため午前7時から午後6時までの開所時間に加え、さらに2時間延長して保育を行いその結果、保護者の仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立の負担を軽減でき、子供が安心できるような環境整備を総合的に推進し、児童福祉の向上を図れた。当園では、月曜日から土曜日まで概ね4名の延長保育を実施し、2名の保育教諭を充てた。

##### イ. 一時預かり事業(一般型)

令和元年度の利用実績は129名であった。母親の短時間就労や資格の取得、病院通院等多様なニーズに応えることができた。働きたい女性のための託児サービス事業にも取り組んだ。しかし、利用者の人数は年々減少しているように思う。

##### ウ. 一時預かり事業(幼稚園型)

令和元年度の利用実績は、平日10,658名、休日(土曜日)1,818名で昨年度より2,000名ほど増加した。これは10月から1号認定の無償化、1号認定のうち就労の保護者の子どもを新2号認定とし、預かり保育も無償化になったためである。特に休日(土、長期休暇)の預かりについても当園独自で無償にしたため、休日預かりの人数は2倍であった。

##### エ. 障がい児保育促進対策事業

心身に障がいを有する児童を受け入れ、他の児童と集団活動をともしする保育を行うことにより、障がい児の健全な育成と社会性を促進し、他の児童においても障がい児をとおして障がいの理解と偏見をなくすために事業実施した。軽度発達障がい児5名を保育した。

## Ⅱ. 放課後児童健全育成事業「児童クラブ 風ん子ハウス」(平成7年4月開設)

① 年間開所日数 294日

② 平成31年度利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	167
2年	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	143
3年	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	95
4年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
5年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	51
6年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	42	548

広い敷地や豊かな自然環境の中で体を動かし、カニや小魚などの小動物と触れ合い、遊びの中で多くのことを学ぶことができた。また、昨年来続けている茶道教室も年齢ごとに分けることで充実した活動となった。さらに、育て収穫した野菜を使い男女ともに協力して調理を行うことで食に関心を持ち、進んで取り組む姿勢が見られた。

昨年度は新たにクリーン活動を取り入れ、近隣のごみ拾いを行い、ゴミを散らさない気持ちを育むことにつなげることができた。

5年生の男児が設計した家を運営委員長も加わり建築した。多くの子どもが作業に参加し道具の使い方や危険性について学ぶことができた。

支援員の連携や学びについては、昨年度同様に子どもに対する言葉かけに気を付け、月1回気になる子どもの様子や全体の雰囲気、支援員の対応などについて話し合いを持ち、情報共有とかかわりの振り返りを行い、子どもにとって楽しい居場所となるよう努めてきた。

3月より新型コロナウイルス感染拡大対策として、学校が休校になり1日の利用になった。市からも利用者に利用自粛要請があり、一日の利用者は20名程度だった。

## Ⅲ. 子育て支援事業「子育て支援センター どんぐり」(平成19年4月開設)

令和元年度利用実績

	開館日数	利用者(親)	利用者(子)	育児相談	市主催 (すくすく広場)
年実績数	238日	1447人	1659人	19件	5回

お母さんたちのくつろぎの場、親子の友だち作りやふれあいの場として活動をしているが、それとともに、子どもの発達を保障する場でもありたいと願い、「こども園の園庭で遊ぼう」「給食試食会」「絵本・紙芝居の読み聞かせ」「すくすく広場」等で子どもの成長に望ましい環境を提供してきた。

たくさんの自然に囲まれ、太陽の光や水・土との触れ合いを思いきり楽しむことが出来る環境を活

かし、戸外での遊びを充実させ、豊かな心や丈夫な身体を育めるよう支援した。今年度は、0歳から4歳までの親子の利用があり、戸外での開放的な活動を通して、子ども同士・親同士の交流が活発になり親睦が深まった。日常的に利用することにより、子育ての不安や悩みを共有し、共に笑い合える仲間ができたことで日々の生活に潤いが生まれ、子育てへの活力につながった。利用者同士の交流が図れるよう支援するとともに、子育てに孤立感・負担感を感じているお母さんに寄り添い、相談を受けたり、一時預かり保育の紹介もしたりと、お母さん自身がリフレッシュして子育てに向かえるよう支援した。

地域の老人会の力を借り、月一回「ひだまり会」を開催し、郷土料理などを一緒に作って食べたり、おしゃべりをしながら子育ての知恵をもらったりして交流を図ることができた。利用者親子はもちろん、地域の方も楽しんで参加してくれるようになり孤食の改善にもつながった。

月・水・金の食事提供では、子どもたちに皆で食べる楽しさを伝えることが出来た。また、「家庭でも作ってみました」という声も聞かれ、料理のレパートリーを増やすことにつながった。

核家族化や少子化が進む中、また転勤で県外から来て縁者、知人のいない人にとって、支援センターという交流の場があることで母親同士、子ども同士のつながりが生まれていることは、重要な意義があると考ええる。

3月よりコロナウイルス感染防止のため、月末まで利用自粛のお願いをした。

#### (補助金) 1. 県費補助金

① 子育てホットクーポン補助金	64,120円
合 計	64,120円

#### 2. 市補助金

① 延長保育事業補助金	2,190,000円
② 一時預かり保育事業(一般型)補助金	1,507,000円
③ 一時預かり保育事業(幼稚園型)補助金	612,000円
④ 新2号預かり保育事業補助金	1,175,200円
⑤ 障がい児保育促進対策事業補助金	600,000円
合 計	6,148,320円

(委託金) ① 地域子育て支援事業委託金	6,000,000円
② 放課後児童クラブ委託金	5,929,000円
合 計	11,929,000円
総 合 計	18,077,320円

### 3. 職員研修

#### (1) 園内研修

- ①職員会議 保育現場の問題・課題を出し合い協議した。研修会の報告をするなど、職員間で情報を共有した。
- ②保育学習会 月一回、斎藤公子の著書を輪読し職員間で話し合った。
- ③自己評価会議 リーダーを中心に、一カ月を振り返り自らを評価しグループでの話し合いを持った。

- ④リーダー会議 自己評価会議の内容を園長・副園長・主幹保育教諭を交えてリーダーが報告し、情報や課題を共有した。
- ⑤週案会議 各クラスの主担が週毎の保育を評価・反省し、課題を見出し次週の計画を発表し、情報を共有した。
- ⑤実技学習会 歌を歌う会やリズムの講習会を行った。
- ⑥事例検討会 気になる子どものエピソードなどの事例を通して自己評価・見直しをし、学び合った。

## (2) 園外研修

ア、県保育連合会・認可保育協議会主催の研修会に参加

園長研修会・主幹保育教諭研修会・リーダー的職員研修会・専門職員研修会Ⅰ・専門職員研修会Ⅱ・食育推進研修会・療育担当研修会・九州保育三団体研究大会・県保育事業大会・保育心理士養成研修会・保育士等キャリアアップ研修会・幼稚園教育課程大分県協議会・10年経験者職員研修会・学童支援員養成研修会

イ、真宗保育研修会に参加

仏教保育大学講座・大谷保育九州大会・全国真宗保育大会・保育心理士研修会

ウ、杵築市保育協議会主催の研修会に参加

園長研修会・主任・主幹研修会・職員研修会・調理師研修会・リーダー保育士研修会

エ、自主研修会

保育連合会主催自主研修会、三園交流自主研修会（歌う会）

## 4. 施設整備及び遊具の整備

① 労務管理ソフト導入初期費用	450,000円	
② 大型遊具の修理保全	536,800円	
③ 保育室の床張り替え	2,769,040円	
④ 調理室床張り塗装工事	883,200円	
⑤ ホールの空調設備設置	4,266,000円	
⑥ 園舎東側のエントランス工事	2,894,400円	合計11,799,440円

## 5. 年間の主な行事

- 4月 入園式・クラス懇談会・健康診断(内科・歯科)
- 5月 春の遠足(佐野植物公園)・おはなまつり・年長児三園交流お泊り保育(九重青少年の家2泊3日・久住山登山)
- 6月 保育参加・子育て講演会(講師広木克行氏)・年長児三園交流お泊り保育(耶馬溪屋形いなかの学校2泊3日)・0.1.2歳児担当交流会
- 7月 年長児お泊り保育(香々地1泊2日)・3.4歳児・給食担当交流会
- 8月 夕涼み会・園内お泊り保育(4・5歳児)・公開保育
- 9月 親子バス遠足(アフリカン・サファリ)・年長児三園交流お泊り保育(香々地青少年の家2泊3日)
- 10月 運動会(東小学校グラウンド)

- 11 月 子育て講演会(講師永田誠氏)・健康診断(内科・歯科)・年長児三園交流お泊り保育(九重青少年の家2泊3日・久住山登山)年長児久住山登山・市主催公開保育・クラス懇談会・消防訓練(消防署による)・年長児交流会(みかん狩り・1日)・0.1.2歳児担当交流会
- 12月 お餅つき・報恩講のお参り・クラス懇談会・3.4歳児・給食担当交流会
- 1月 スキー合宿(九重スキー場2泊3日)・年長児交流会(スケート体験・1日)・クラス懇談会
- 2月 年長児三園交流お泊り保育(如水・2泊3日)
- 3月 お別れ遠足(城山公園)・生活発表会、卒園式(父母のみ観覧)

## 6. 地域との連携

こども園では夏の夕涼み会、12月のお餅つきに地域の老人クラブの皆さんを招待し、子どもたちとの会話を楽しむことや、餅のつき方や丸め方など伝統の技を教えていただいた。なお、3月のお別れ会の招待はコロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とし、お弁当を配布した。

以上